

研究課題名	胃、十二指腸腫瘍に対する内視鏡診断、治療に関する検討
研究の意義・目的	胃腫瘍の内視鏡診断および内視鏡治療は現在幅広い病院で行われており、早期発見、早期治療することで良好な予後が得られます。しかしながら、内視鏡での診断や治療が困難な腫瘍もありまだまだ研究が必要です。また十二指腸腫瘍は頻度も少なく、治療できる施設も現時点では高次医療機関に限られています。これらの胃・十二指腸腫瘍についての内視鏡診断、内視鏡治療の精度、効果、予後、治療後の追加治療や異時性再発などについて明らかにすることで、今後より効果的な検査や治療を提供できることができると考えています。さらに、患者さんの苦痛や負担の軽減や術者・担当医の負担の軽減、医療費の削減などにも貢献できると考えます。
研究を行う期間	承認後～2027年12月31日
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2004年5月1日～2026年12月31日に大阪市立大学医学部附属病院の消化器内科で、胃、十二指腸腫瘍に対して内視鏡検査を施行した患者さんが対象です。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、入院日、検査日、治療日、既往歴、喫煙歴、飲酒歴、検査データ、内視鏡画像、内視鏡所見、CT画像など】
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪市立大学医学部附属病院消化器内科のみで行い、他の施設に試料・情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪市立大学医学部附属病院消化器内科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科 消化器内科学 研究責任者 永見康明
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 消化器内科学 (担当者氏名) 永見 康明、大南 雅揮 電話番号：06-6645-2316